

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2017-64294(P2017-64294A)

【公開日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2015-196530(P2015-196530)

【国際特許分類】

A 6 2 B 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 2 B 35/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月5日(2017.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

作業者の肩部に装着される肩ベルトと、前記作業者の腿部に装着される腿ベルトと、前記肩ベルト及び前記腿ベルトを連結する第1バックルと、を含むハーネス型安全帯と、

前記作業者の胴に装着される胴ベルトと、前記肩ベルトの側に設けられる前記第1バックルの一方とともに前記肩ベルト及び前記胴ベルトを連結する第2バックルと、前記腿ベルトの側に設けられる前記第1バックルの他方とともに前記腿ベルト及び前記胴ベルトを連結する第3バックルと、を含む胴ベルト型安全帯と、

を備えたことを特徴とする安全帯。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前述した課題を解決する主たる本発明は、作業者の肩部に装着される肩ベルトと、前記作業者の腿部に装着される腿ベルトと、前記肩ベルト及び前記腿ベルトを連結する第1バックルと、を含むハーネス型安全帯と、前記作業者の胴に装着される胴ベルトと、前記肩ベルトの側に設けられる前記第1バックルの一方とともに前記肩ベルト及び前記胴ベルトを連結する第2バックルと、前記腿ベルトの側に設けられる前記第1バックルの他方とともに前記腿ベルト及び前記胴ベルトを連結する第3バックルと、を含む胴ベルト型安全帯と、を備える安全帯である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

以上説明したように、本実施形態に係る安全帯1は、作業者の右肩部及び左肩部の夫々に装着される肩ベルト2A, 2Bと、作業者の右腿部及び左腿部の夫々に装着される腿ベルト2D, 2Eと、前記肩ベルト2A, 2B及び腿ベルト2D, 2Eを連結するバックル2J

P, 2 J N, 2 M P, 2 M Nと、を含むハーネス型安全帯2と、作業者の胴に装着される胴ベルト3 Aと、肩ベルト2 A, 2 Bの側に設けられるバックル2 J N, 2 M Nとともに肩ベルト2 A, 2 B及び胴ベルト3 Aを連結するバックル3 F, 3 Gと、腿ベルト2 D, 2 Eの側に設けられるバックル2 J P, 2 M Pとともに腿ベルト2 D, 2 E及び胴ベルト3 Aを連結するバックル3 H, 3 Iと、を含む胴ベルト型安全帯3と、を備えている。本実施形態によれば、高所作業の内容に応じて、ハーネス型安全帯2及び胴ベルト型安全帯3を一体として使用することも別体として使用することも可能になる。